

2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年2月8日

上場会社名 工藤建設株式会社 上場取引所 東
コード番号 1764 URL http://www.kudo.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 工藤 英司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 玉谷 博 (TEL) 045-911-5300
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の業績 (2023年7月1日~2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	9,716	1.6	54	△68.3	25	△78.9	3	△94.2
2023年6月期第2四半期	9,558	26.6	171	452.9	121	—	62	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年6月期第2四半期	2.93	—	—	—				
2023年6月期第2四半期	49.76	—	—	—				

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	15,652	4,598	29.4
2023年6月期	14,655	4,705	32.1

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 4,598百万円 2023年6月期 4,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00	—
2024年6月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	20,778	6.1	371	11.3	255	△16.9	161	18.5	128.76	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、社内の業績管理を通期ベースで実施いたします。従って、業績予想についても通期で開示しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	1,331,220株	2023年6月期	1,331,220株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	84,905株	2023年6月期	80,795株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	1,247,968株	2023年6月期2Q	1,258,911株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、雇用・所得環境が改善し、各種政策の効果もあり、個人消費の持ち直しの動きが見られ、景気は一部に足踏みが見られるものの緩やかな回復傾向が継続しました。一方で、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念などの海外景気、円安や物価上昇による家計や企業への影響、中東地域情勢や金融資本市場の変動等による下振れリスクを注視する必要があるとあり、当社を取り巻く経営環境の不透明な状態が続いております。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しているものの、建設投資については持ち直しに足踏みが見られる中、人材不足による労務費の上昇や、資材価格の高騰等による影響もあり、今後も建設需要やニーズの変化に対してより一層注視が必要な状況が続いております。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は、持家及び分譲住宅の着工においてはこのところ弱含んでおり、貸家は横ばいとなっております。また、資材価格の高騰等により、建築コストの上昇が続いております。

介護業界におきましては、高齢化率の上昇等に伴い、社会インフラとしてサービスの安定供給が一層高まる中、介護事業者については、有効求人倍率が高い数値で推移しており、引き続き介護人材確保に向けた雇用環境の改善や、物価上昇による光熱費や食材費などのコスト増加も介護事業者の課題となっております。

このような情勢の中、当社は、神奈川・東京を中心とした営業エリアにおいて、お客様の感動を創造し、人生のさまざまなステージを支える生活舞台創造企業を目指して事業展開を図ってまいりました。

この結果、第2四半期累計期間における業績は、売上高97億16百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益54百万円（前年同期比68.3%減）、経常利益25百万円（前年同期比78.9%減）、四半期純利益3百万円（前年同期比94.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<建設事業>

売上高は、前年同期に比して完成工事の増加により48億94百万円（前年同期比2.5%増）となり、一部工事において工事採算が低下したことなどにより営業利益は11百万円（前年同期比93.3%減）となりました。

<不動産販売事業>

不動産販売部門に係る売上は仲介手数料のみとなりました。

<建物管理事業>

売上高は、手持ち大規模修繕工事の減少により、18億59百万円（前年同期比5.7%減）となり、資材価格の高騰により営業利益は1億27百万円（前年同期比27.9%減）となりました。

<介護事業>

売上高は、入居率の向上により、29億59百万円（前年同期比5.3%増）となり、営業利益は1億92百万円（前年同期比104.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、156億52百万円(前事業年度末残高146億55百万円)となり9億97百万円増加しました。その主な要因は、現金預金が7億47百万円、不動産事業支出金が2億8百万円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、110億53百万円(前事業年度末残高99億49百万円)となり11億3百万円増加しました。その主な要因は、短期借入金が5億60百万円、未成工事受入金が4億1百万円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、45億98百万円(前事業年度末残高47億5百万円)となり1億6百万円減少しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、現時点では2023年6月期決算発表時(2023年8月10日)に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,160,474	2,908,267
完成工事未収入金等	3,688,161	3,742,733
未成工事支出金	64,634	67,106
不動産事業支出金	52,273	261,224
貯蔵品	34,837	37,525
その他	474,333	461,759
貸倒引当金	△12,137	△12,579
流動資産合計	6,462,577	7,466,037
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,945,680	1,945,680
その他(純額)	1,233,283	1,190,130
有形固定資産合計	3,178,963	3,135,810
無形固定資産		
無形固定資産合計	70,302	84,021
投資その他の資産		
差入保証金	4,054,587	4,094,933
その他	896,011	879,737
貸倒引当金	△7,212	△7,746
投資その他の資産合計	4,943,386	4,966,923
固定資産合計	8,192,652	8,186,755
資産合計	14,655,229	15,652,792
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	1,246,493	1,287,430
短期借入金	2,040,000	2,600,000
1年内返済予定の長期借入金	514,732	557,316
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	100,491	29,640
未成工事受入金	353,717	755,279
完成工事補償引当金	51,307	54,008
賞与引当金	108,563	41,115
転貸損失引当金	24,300	23,976
その他	1,253,968	1,317,639
流動負債合計	5,713,573	6,676,403
固定負債		
長期借入金	1,111,997	1,363,615
預り保証金	2,476,269	2,412,025
転貸損失引当金	64,811	53,445
その他	583,319	548,433
固定負債合計	4,236,397	4,377,518
負債合計	9,949,971	11,053,922

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,500	867,500
資本剰余金	549,500	549,500
利益剰余金	3,423,287	3,301,905
自己株式	△172,050	△172,076
株主資本合計	4,668,236	4,546,829
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,022	52,040
評価・換算差額等合計	37,022	52,040
純資産合計	4,705,258	4,598,870
負債純資産合計	14,655,229	15,652,792

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高		
完成工事高	5,470,671	5,464,790
不動産事業等売上高	1,277,706	1,291,887
介護事業売上高	2,810,467	2,959,821
売上高合計	9,558,845	9,716,500
売上原価		
完成工事原価	4,764,875	4,963,387
不動産事業等売上原価	1,081,692	1,092,559
介護事業売上原価	2,612,650	2,672,131
売上原価合計	8,459,218	8,728,079
売上総利益		
完成工事総利益	705,795	501,402
不動産事業等総利益	196,013	199,328
介護事業総利益	197,817	287,689
売上総利益合計	1,099,626	988,420
販売費及び一般管理費	928,306	934,036
営業利益	171,320	54,384
営業外収益		
受取利息	2,014	1,970
受取配当金	6,456	10,020
助成金収入	1,692	15,095
その他	7,397	2,723
営業外収益合計	17,561	29,808
営業外費用		
支払利息	44,534	46,126
その他	22,664	12,342
営業外費用合計	67,199	58,468
経常利益	121,683	25,725
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	121,683	25,725
法人税、住民税及び事業税	23,960	8,270
法人税等調整額	35,084	13,793
法人税等合計	59,044	22,064
四半期純利益	62,638	3,660

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	121,683	25,725
減価償却費	156,489	129,355
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,136	975
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56,281	△67,448
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	11,329	2,700
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△32,105	△11,690
受取利息及び受取配当金	△8,471	△11,990
支払利息	44,534	46,126
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△10,256	△12,465
売上債権の増減額 (△は増加)	△389,243	△55,521
未収消費税等の増減額 (△は増加)	62,785	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,563	8,883
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△27,437	△2,471
不動産事業支出金の増減額 (△は増加)	△15,800	△208,950
仕入債務の増減額 (△は減少)	△91,899	40,936
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	135,770	401,561
預り保証金の増減額 (△は減少)	△25,987	△64,244
その他	60,679	43,261
小計	△87,637	264,744
利息及び配当金の受取額	6,483	10,035
利息の支払額	△44,282	△46,136
法人税等の支払額	△7,957	△70,927
法人税等の還付額	40,267	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,127	157,716
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	12,000	200,299
定期預金の預入による支出	△135,700	△335,700
有形固定資産の取得による支出	△22,802	△37,966
投資有価証券の取得による支出	△0	—
差入保証金の差入による支出	△662	△54,142
差入保証金の回収による収入	6,896	13,802
長期貸付けによる支出	△650	—
長期貸付金の回収による収入	81	162
その他	△23,474	△17,367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,312	△230,912
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	450,000	560,000
長期借入れによる収入	600,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△326,338	△305,798
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
自己株式の取得による支出	—	△25
配当金の支払額	△123,347	△125,042
リース債務の返済による支出	△36,632	△33,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	553,681	685,584
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	296,242	612,389
現金及び現金同等物の期首残高	1,062,231	1,307,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,358,474	1,920,094

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	不動産 販売事業	建物管理 事業	介護事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	381,866	—	442,833	102,902	927,603	—	927,603
一定の期間にわたり移転 される財	4,394,513	—	547,646	2,704,564	7,646,724	—	7,646,724
顧客との契約から生じる 収益	4,776,380	—	990,480	2,807,467	8,574,328	—	8,574,328
その他の収益	—	—	981,516	3,000	984,516	—	984,516
外部顧客への売上高	4,776,380	—	1,971,997	2,810,467	9,558,845	—	9,558,845
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,776,380	—	1,971,997	2,810,467	9,558,845	—	9,558,845
セグメント利益	174,571	—	177,253	94,410	446,236	△274,915	171,320

(注) 1. セグメント利益の調整額△274,915千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	不動産 販売事業	建物管理 事業	介護事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	335,525	2,740	427,069	111,733	877,069	—	877,069
一定の期間にわたり移転 される財	4,559,244	—	439,156	2,845,087	7,843,488	—	7,843,488
顧客との契約から生じる 収益	4,894,769	2,740	866,226	2,956,821	8,720,558	—	8,720,558
その他の収益	—	—	992,942	3,000	995,942	—	995,942
外部顧客への売上高	4,894,769	2,740	1,859,168	2,959,821	9,716,500	—	9,716,500
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,894,769	2,740	1,859,168	2,959,821	9,716,500	—	9,716,500
セグメント利益	11,772	2,709	127,805	192,998	335,284	△280,900	54,384

(注) 1. セグメント利益の調整額△280,900千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。